

農業革新支援センター情報

要件		ホームページ掲載		書庫掲載		部門	作物
緊急	○一般	○可	不可	○農家可	農家不可	病害虫	野菜
情報第270号 令和7年（2025年）7月2日							
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>各広域本部農林（水産）部 農業普及・振興課長 各広域本部地域振興局農林部 農業普及・振興課長 農林水産部農産園芸課長 農業研究センター・各研究所長 各市町村長 熊本県経済農業協同組合連合会長 各地域農業協同組合組合長</p> </div> <div style="width: 5%; text-align: center;">} 様</div> </div>							
課題名	ウリ類退緑黄化ウイルス抵抗性メロン品種の栽培における防除対策の徹底について					担当者	熊本県農業技術課 農業革新支援センター 児玉 TEL096-333-2429
<p>県内のアールスメロン産地では、昨年度からウリ類退緑黄化ウイルス（以下、CCYV）に抵抗性を持つメロン新品種である「アールスパロン」の栽培が本格化し、今後も栽培面積が増加するものと考えられています。</p> <p>当該品種は、罹病性品種と比較してCCYVによる病徴が表れにくいですが当該ウイルスには感染するため、コナジラミ類防除対策を徹底しなかった場合、ウイルスの地域内密度を高める可能性が懸念されます。さらに、CCYVは、メロンの他にキュウリやスイカ等にも感染するため、地域の施設園芸栽培へ与える影響は非常に大きいと考えられます。</p> <p>つきましては、新品種を導入した圃場においても、引き続きコナジラミ類の防除対策が徹底して行われるように、防除対策継続の必要性とその具体的対策について取りまとめましたので、農業者や関係機関に対する周知並びにご指導をよろしくお願ひします。</p>							



*熊本県農業情報サイト「アグリくまもと」のメルマガ登録することで、農業革新支援センター情報を迅速に受け取ることができます。

【登録用アドレス】 <https://agri-kumamoto.jp/>

登録用
QRコード→



ウリ類退緑黄化ウイルス抵抗性メロン品種の栽培における

防除対策の徹底について

令和7年（2025年）7月2日

熊本県農業革新支援センター

1. 防除対策の必要性

現在市販されているウリ類退緑黄化ウイルス（以下、CCYV）抵抗性を持つメロン品種は、ウイルスに感染しないのではなく、ウイルス病の病徴が表れにくい品種である。

よって、従来どおりのコナジラミ類に対する防除対策を徹底しなかった場合、ウイルスの地域内密度を高める可能性がある。加えて、CCYVは、メロンの他にキュウリやスイカなどにも感染するため、地域の施設園芸栽培へ与える影響は非常に大きい。

そのため、罹病性品種や他作物への影響が無いように、地域で実施されている以下の事項について継続して取り組む必要がある。

2. 取り組み事項

（1）「入れない」対策

コナジラミ類に対する侵入防止対策（0.4mm 以下目合防虫ネットの展張など）を徹底し、ハウス内にコナジラミ類を入れないようにする。

（2）「増やさない」対策

栽培期間中は定期的に薬剤散布を行い、ハウス内でコナジラミ類を増やさないようにする。

（3）「出さない」対策

栽培終了後は、ハウス密閉処理や古株枯死登録薬剤処理によって、コナジラミ類とウイルスをハウス内で死滅させる。

（4）「つながない」対策

上記の対策を地域全体で取り組むことで、地域のCCYVの密度をさげるようにする。